



# めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り  
令和6年6月号  
ヨハネスブルグ日本人学校

## 第1回国際交流を行いました。「ワンダーランド幼稚園」

### 今後も交流が続きます!

在外教育施設で国際交流を積極的に行う意義や大切さは以前から叫ばれているところです。



コロナ禍を影響で一旦停止していた交際交流は、2年前から再開しています。大変ありがたいことに、JSJでは、今年度、6回の国際交流を予定しています。毎年、気持ちよく受け入れて下さる学校や施設があることは、子供たちにとって大変ありがたいことです。

では、その長所とされている点をいくつかご紹介します。

**言語力の向上:** 異なる言語である英語を使う人々との交流により、自然に他国の言語を習得できる機会が増えます。英会話の時間で学んでいる英会話力を試すチャンスととらえています。

**コミュニケーションスキルの向上:** 言葉を使ったコミュニケーションが求められます。自然に身振り手振りも増え、何とか自分の伝えたいことを一生懸命に理解してもらうため、積極的に伝えるスキルが身につきます。

**異なる価値観への触れ合い:** 異なるバックグラウンドを持つ人々との交流により、多様な価値観に触れることができます。毎回感じたことを記録することで、自分の振り返りや意欲にもつながっています。

在外で生活することが将来にとっての強みとなる国際交流は、自分の価値観を広げ、新たな視点から世界を見る機会を提供してくれます。

今後予定している国際交流が今からとても楽しみです。



### ワンダーランド幼稚園との交流 ※実施の記録からの一部抜粋

#### 1. 楽しかったこと、嬉しかったこと

- 日本の文化を伝える時に、あやとりはできなかったけど、折り紙でしっかり楽しめた。最後に、「来年もまた会えるよね」と言ってくれました。(小2)
- ペアの子と仲良くなれた。最初緊張していたけど、私たちが帰るとき、半泣きになっていて、最初より親密度が増したのでよかったです。(小5)

#### 2. 頑張ったこと

- 頑張ったことはペアの子とはぐれないようにずっとちかくにいることを意識しました。英語をたくさんしゃべるのも頑張りました。(小3)

#### 3. JSJの友達のよいと思ったこと

- 小2の男の子がペットボトルボーリングの時、わかりやすく丁寧に説明をしていた。G6の男子が臨機応変に行動し、リーダーとしてみんなをまとめていた。(中1)
- 小さい子が乗っている三輪車を優しく押している上級生の優しく接している様子を見た。(小4)

#### 4. 次の国際交流で頑張りたいこと

- 次の国際交流で頑張りたいことは、ペアの子と仲良くお話をすることです。ペアの子とはぐれないようにすることを頑張りたいです。(小3)
- 次のオランダとの交流は、幼稚園の子より年が上だから積極的に話しかけたい。同時に英会話を頑張りたいです。(小5)
- もっと英語でコミュニケーションをとって、ペアの人と仲良くなり、関係を深め、もっとたくさん交流することを頑張りたいです。(小4)
- 次は、自分と年齢が近い子と交流をするので、今回よりももっと積極的に英語でコミュニケーションをとりたい。また、今回は日本の文化を少ししか伝えきれなかったから、次回は日本語を教えて相手の文化を教えてください。(中1)

### 筆記用具の寄付を頂きました。Pentel 社様 ありがとうございます!



先日、Pentel 社様より、子供たちの学習に活用して頂きたいと申し出を頂き、子供たちにペンと消しゴムを配布いたしました。筆圧や角度によって太きが変わる多色ペンに子供たちは大喜びで、ノート作りや図工科の作品作りに活用しています。ご寄付をいただきました、Pentel 社の鈴木様、金子様には心より御礼申し上げます。

